

-お申込み方法-

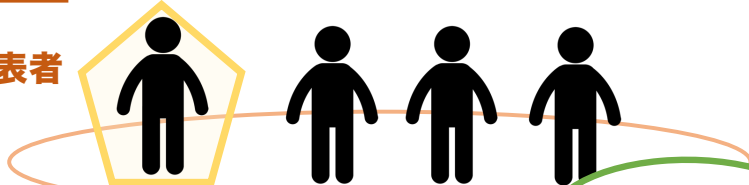
こちらから



STEP 1 QRコードから申込フォームへ入る
※STEP2～4についてご入力ください。

STEP 2 受講するチーム（2人～4人）をつくる

代表者



11月～1月
限定開催！

STEP 3 受講するコースを選択する

患者急変対応コース
(4時間)



or

救急初療看護コース
(4時間)



STEP 4 受講日程（毎週水曜日12:30～）を選択する
※研修日時はお申込みフォームでご確認ください。

STEP 5 入力が完了したらフォームを「送信」する

STEP 6 センターから確認（受講決定）メールを受信して申込み完了

<お願い>

- ①人数の変更やえむを得ずキャンセルされる場合は、必ずメール、またはお電話でのご連絡をお願いいたします。
- ②研修当日は、大学受付（1号館1F）で入館受付を行い、10分前までに集合くださいますようお願いいたします。

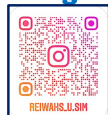
【連絡先/アクセス】

福岡市東区和白丘2丁目1-1 2
TEL 092-607-6701
eMail : reiwa.sim@kyoju.ac.jp



令和健康科学大学
REIWA HEALTH SCIENCES UNIVERSITY

臨床シミュレーションセンター
ホームページ Instagram



教授/センター長 増山純二
苑田裕樹・後小路隆

令和健康科学大学 臨床シミュレーションセンター

毎週水曜日
開催！

シミュレーション研修のご案内

センター主催で「患者急変対応」「救急初療看護」の研修を行います。病院で勤務されている看護師、介護施設などで勤務されている看護師、また在宅看護を主に実践されている看護師を対象にした患者急変対応の研修です。また、救急外来で勤務している看護師を対象にした救急初療看護の研修も行います。お申込みの際は、「患者急変対応コース」、「救急初療看護コース」のどちらかを選択してください。楽しく研修が受講できますように、友人や同僚と一緒に（2～4人）に参加することを前提としております。シミュレーションを主にした楽しい研修となっております。ぜひ、お申し込みをお願いします。

臨床シミュレーションセンターのご紹介

多彩な高機能シミュレーターを設置！

学習目標に最適な
シミュレーターを選択



ここは
病室ではなく
教室！

リアルな環境での学習が可能

録画システム
(Sim Capture)
を設置！

振り返り学習を促進



集中治療室



一般病室（4人床）

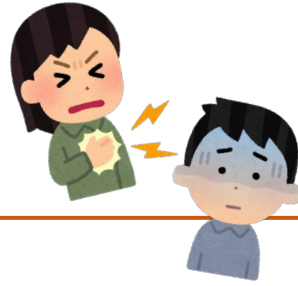
患者急変対応コース

【コース概要】

入院中の患者や施設入所中の入所者、また、訪問看護の利用者の急変にあった際に、どの情報をどのように判断して、優先順位を決め、どのように対応していくか、患者急変対応の特異的な看護実践が必要です。本コースでは、高機能シミュレーターを使用して、シナリオを通して体験し、その後の振り返りで思考を整理します。

【コース目標】 *4時間コースの目標になります。2時間コースは、「4」「5」意外の目標となります。

1. 患者急変対応プロトコルについて説明できる
2. 一次評価の観察ができる
3. 一次評価の観察から緊急度の判断ができる
4. 二次評価から臨床推論ができる（4時間コース）
5. 疾患予測から緊急度の判断ができる（4時間コース）
6. 救急処置の対応ができる
7. SBAR報告ができる



時間	4時間コース
30分	患者急変対応プロトコル/SBAR報告/救急処置/緊急検査
100分	タスクトレーニング ABCDEアプローチ 呼吸音/心音/GCS・麻痺の観察/腹部所見/問診（各15分）
90分	患者急変の実際 （シミュレーターを使用して患者急変対応の実際を体験）
10分	まとめ

救急初療看護コース

【コース概要】

救急初療（外来）では、医学診断が明確にされない中で看護実践が行われます。日々の煩雑な業務の中での看護実践は医師の指示下、もしくは、ルーチンで看護実践が行われていくことが多く、看護実践の根拠や患者の情報からの分析、アセスメントをもとにした看護実践の必要性を気にしない中で看護実践が行われている現状があり、看護の質が低下していきます。本コースは高機能シミュレーターを使用し、シナリオを通して救急初療における看護実践を体験していただき、その後の体験を振り返り、フィジカルアセスメント、臨床推論、チーム医療について学習します。

【コース目標】 *4時間コースの目標です。2時間コースは、フィジカルイグザミネーションができることを前提に進めます。

1. 場（人材、ベッド、物品）の調整ができる。
 - 生理学的徴候の分析ができる
 - 臨床推論から疾患予測ができ、生理学的徴候の異常の顕在的、潜在的アセスメントができる
2. 救急処置の選択ができる。
 - 生理学的徴候の分析ができる
 - 臨床推論から疾患予測ができ、生理学的徴候の異常の顕在的、潜在的アセスメントができる
3. 緊急検査の選択ができる。
 - 臨床推論から疾患予測ができる
4. 看護問題（看護診断）が解決できるケアの提案ができる。
 - 一次評価、二次評価を統合し、病態アセスメントができる
 - 看護問題（看護診断）を明確にすることができる

時間	4時間コース
30分	救急初療看護概論
100分	タスクトレーニング ABCDEアプローチ/呼吸/循環/脳神経/腹部/問診
90分	救急初療看護の実際 （胸痛、呼吸困難、意識障害、外傷など） *外傷は希望時に提供します。
10分	まとめ

